奈良市民だより
No. 500

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましょう。
奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましょう。
奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましょう。
奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。
奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましょう。

市民のうごき
11月1日現在（前月比増）
人口　311,239人（350）
男　150,947（203）
女　160,292（147）
世帯数　99,863（66）

菊の香につつまれた史跡文化センター大ホールでの表彰式

芸術文化への参加活動を高揚

美術展に81点
史跡文化センター中心に
異色ある企画

古都の秋飾る初の市文化祭

奈良市では「未来にのびゆく国際文化観光都市―伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくり―」を、奈良市基本構想のまちづくりの目標として、生活環境を整える施策とともに、奈良市のもつかけがえのない歴史と伝統を市民生活に生かす施策を進めています。

〝モーレツ時代〟は去り、現代は生活の中に精神的ゆとり、心のうるおいを求め、人間性を回復する時代といわれています。市ではこのような機運を受け、〝芸術の秋〟たけなわの十一月三日から十四日まで、第一回の奈良市文化祭を市史跡文化センターで開きました。

会場にあてられた市史跡文化センターは、先人の残した文化芸術に多くの市民が接することができる場と機会を提供し、歴史的風土に根ざした特色ある文化芸術活動の拠点として市民に利用してもらおうと今年五月一日に開館されたものです。

市文化祭は三日午前十一時半、木山市長、横井市議会副議長、松井牧牛市美術家協会代表運営委員長が展示ロビーで市美術展のテープをカットして開会、盛りだくさんな催しものがつづき、多数の市民が参加しました。

まず三日からはじまった市美術展は、市内在住または在勤の美術家有志が組織している市美術家協会会員のうち八十一人が丹精こめて制作した日本画十点、洋画二十点、写真十四点、彫刻十点、工芸十二点、書十五点の計八十一点が展示ロビーに所狭しと並べられ、古都に研さんする美術家の息吹きをひしひしと感じさせました。市美術展の中日（なかび）ともいえる七日には、日本画や写真など各部門から会員が一人ずつ講師となってユニークな「出品作品解説」が開かれ、参加した延べ約五百人の〝受講生〟は、ツボを心得た説明に深くうなずいていました。

同じ三日には午後一時から講演会。作家の阿川弘之氏は「日本の笑い」と題して、幅広い文筆活動を通じての日本人の〝笑い〟を分析、ユーモアたっぷりに語り、続く元プロ野球監督の鶴岡一人氏は、球界での努力の結果の勝者として独特の「根性論」を展開、身にしむ実践の熱弁をふるいました。同日夕刻からはさらに湯口美和さんのピアノの夕べ。ピアノ曲でなじみ深い「英雄ポロネーズ」ほかの名曲で聴衆を魅了しました。

翌四日は関西落語界を代表する桂米朝をトップとした「桂米朝一門会」が催され、米朝をはじめ雀三郎、枝雀ら一門の実力落語家が出演、身ぶり手ぶり豊かな熱演に会場は笑いの渦がまいていました。

五日と六日はNHK奈良放送局と共催のプログラム。まず五日には「ヤング・フェスティバル・イン・ナラ」が登場。あらかじめ申し込みのあった十三組のロックやフォークなどアマチュアグループの演奏会という奈良では珍しい若者の競演で場内は沸きました。六日には奈良市出身の堀内孝雄のライブコンサートがあり、これまたふるさと奈良での熱唱というので若いファンで埋まり、前日の「ヤング・フェスティバル・イン・ナラ」とともに、若い音楽ファンの心をかき立てる二日間でした。「ヤング・フェスティバル・イン・ナラ」は、出演した十三組のうち、優れた演奏の二グループ・一個人に、グランプリ賞、市長賞、NHK奈良放送局長賞が贈られました。

グランプリに輝いたローズネスハートのリーダー・西田忠昭さん（川上八反田町）は「メンバー六人のうち五人が奈良市民です。地元でこんな賞をとれて大変うれしいです。これからも頑張ります」と熱っぽく語っていました。

ホールでの出し物の最終日は、七日の新劇「太郎の屋根に雪降りつむ」。この劇は文学座が創立四十五周年記念公演の一環として上演したもので、市内の新劇ファンの熱い拍手を浴びました。

ホールでの五日間六つの催し、展示ロビーでの十一日間の市美術展は、市民に優れた芸術文化に親しんでもらい、芸術文化活動への積極的な参加意欲を高めてもらう原動力となったようで、来春開催予定の「市展なら」への貴重なステップとなりました。

八十一点の力作が並んだ展示ロビー

若い熱気のあふれたロックやフォークグループのコンテスト

菊花にはえるほまれ

百五十二氏たたえる
市の表彰式　市政へ貢献・善行の人

市政の発展に尽くされた方方や、尊い人命を救助された方々、福祉の向上、教育・文化・産業の振興と発展、伝統工芸の保持に尽くされた方々、また、多額の私財を公共の福祉・教育のために寄付された方々を広く顕彰し、たたえる今年の奈良市表彰式は「文化の日」の十一月三日午前九時から市史跡文化センターで盛大、厳粛に挙行されました。

菊の香につつまれた同センター大ホールの式場には被表彰者をはじめ木山市長、横井市議会副議長、市民代表と市関係者ら約六百人が着席。木山市長の式辞のあと表彰にうつり、琴の音が静かに流れるなか、木山市長は被表彰者の一人ひとりに表彰状を読みあげて手渡し、記念品を贈ってその功績・善行をたたえました。

ことし表彰を受けたのは社会のため、市政のために尽くした有功者特別表彰二人と有功者二十八人、教育・学芸・文化・産業の発展や地域社会・住民福祉に尽くした功労者百三人、多額の私財を公益のために寄付、また身の危難をかえりみないで人命を救助、あるいは業務に精励し市民の模範となっている善行者十九人の計百五十二人でした。

市議会議長祝辞のあと、市ママさんコーラス協議会の人たち四十人が受賞者をたたえるうた「頌讃（しょうさん）」と「奈良のうた」を合唱して喜びに花を添えました。

＊　＊　＊

本号8ページ
4・5面に「奈良市指定文化財」（カラー刷り）を特集

発行＝奈良市役所広報公聴課（奈良市二条大路南1丁目1番1号）　電話（34）1111番　〒630　毎月1日・15日発行　全戸配布　　印刷＝㈱池田出版印刷社

紙齢ここに500号

「市民だより」32年歩みの跡

市民と市政を結ぶパイプとして親しまれてきた奈良「市民だより」が、この十一月十五日号で紙齢五百号を迎えました。

創刊は昭和二十五年九月一日。このころの日本は第二次世界大戦の敗戦により、連合国軍の占領下にあり、民主主義国家の体制を整えるのに大わらわでした。「広報」（初めのころは「弘報」と書いた）という言葉も、「知らしむべからず、依らしむべし」ということに慣らされてきた国民には、たいへん目新しいものでした。

創刊以来三十二年余り、創刊当時の奈良市は人口約七万八千、市域は三九・五二平方キロだったのが、現在では人口約三十一万一千、市域は二一一・九一平方キロと大きくなりました。この間には、市が財政再建団体の指定を受けるなど、様々な浮沈がありましたが、現在は近畿の中核都市として、古都奈良の個性を生かした新しい発展をめざしています。

いま五百号を迎えて、「市民だより」の歩みをふり返り、さらに親しまれる「市民だより」となるための新しい一歩を踏み出したいと思います。

また、今号では初代発行名義人の川尻利一氏はじめ、四人の方々から寄稿していただいた「市民だより」への励ましの言葉などを特集しました。

国際文化観光都市とともに発足

前半は苦難の歩み

昭和二十五年当時、日本を占領していた占領軍の総司令部（GHQ）は、日本の前近代的全体主義体制を打破し、主権在民の民主主義体制へ国はじめ地方自治体を移行させるため、占領政策の一環として全国の地方自治体に広報紙の発行を義務づけました。

奈良市でもちょうどこの年、「奈良国際文化観光都市建設法」が国会を通過して、九月二十日の住民投票にかけられようとしていた時期でした。それだけに、第一号の紙面は当時の片岡安太郎市長らの「発刊の辞」をはじめ、八ページ（タブロイド判半切）のほとんどが、同法の関係記事で埋まっています。

このようにして生まれた「市民だより」は、昭和二十九年三月の第四十三号まで、だいたい月一回発行してきました。ところが、第四十三号の編集後記に「……世論調査の結果、市民だよりの発行に就て、『随時発行せよ』という声を、かなり聴き（中略）このため市民だよりは平均二ケ月に一回発行することになります」として、昭和四十年五月の第八十二号まで不定期発行がつづき、この十一年の間にわずか四十号しか発行されませんでした。特に昭和三十一年には五月と八月の二回発行されただけでした。

この間、「市民だより」の見出しから拾ってみると、「財政窮乏といえども諸施策は予定通り断行」（昭和二十九年六月、第四十四号）、「財政再建計画を策定中」（昭和三十年十月、第四十九号）、「八カ年で赤字完全解消」（昭和三十一年八月、第五十二号＝赤字解消のため財政再建団体適用を申請）などとあって、このころの奈良市の台所は〝火の車〟となっていました。そのため昭和三十一年には財政再建団体に指定され、八年がかりで立ち直るまでは「市民だより」の発行もままならなかったようです。

そして、ついに昭和三十七年八月から同四十年五月まで長期にわたって「市民だより」は休刊し、代わって「市報なら」が登場。毎月一日、十一日、二十一日に回覧ビラ形式で「お知らせ」版が発行されていました。そして昭和三十八年十一月からは印刷インクを緑色とし現在の色調の基本をつくりました。

しかし、「回覧紙では見ていただくのが遅れがちとなり、それにかわって『市民だより』を月二回発行し、全世帯に配布する」（最終版あいさつ）として「市報なら」は二年九カ月、九十六回で幕を閉じ、「市民だより」が昭和四十年五月十五日から復活しました。

復活第一号である通算八十二号には、高橋正次市長（当時）の「市政と市民の間の意志や感情がよく通じ、明るい住みよい奈良市となるよう『市民だより』を役立たせたい」と「市民だより」に期待を込めたあいさつが掲げられています。ここに漸く今のような安定した発行体制が定まったわけです。

紙幅も第一号と第二号はタブロイド版半切。第三号からタブロイド版。「市報なら」と復活第八十二号から昭和四十四年三月十五日の第百七十二号までがB4判。昭和四十四年四月一日の第百七十三号から現在のタブロイド版となりました。

現在は四ページが原則となっていますが、必要に応じて八ページに増ページするほか、時宜に応じて二色や多色刷りを発行するなど、うるおいのある広報紙として、市民のみなさんに親しんでもらえるよう工夫しています。

発刊当時の思い出

川尻利一

「市民だより」第一号の発刊は昭和二十五年九月であったと記憶する。

当時は、まだ講和条約が締結されていない連合軍の占領下にあったため、南都銀行本店を接収していた軍政府が私たちを呼びつけて強要したり、またジープで乗りつけて来て指図することもあって、敗戦国の悲哀を嘆いたものだった。

とりわけ、行政の末端組織として協力してもらっていた「町内会」が、ポツダム政令によって解散を命ぜられたため、市民に対する周知事項の伝達に困った。

町内会は、町を単位に自主的に組織された民主的な地域団体であって、決して軍国主義の片棒をかつぐものではないことを縷々（るる）説明したが、彼らは頑として聴き入れてくれず、町内会を行政面で利用することは絶対まかりならぬとして許してくれない。

ちょうどそのころ、「奈良国際文化観光都市建設法」が国会を通過し、市民の賛否を問う住民投票を控えていたので、市としてはこの特別法の趣旨・内容を市民に周知してもらう必要があったので、行政機関紙として「市民だより」を発行することに踏み切ることとし、「広報文書課」が設置され、私が初代の課長を拝命した。

広報文書課ができたものの全員が編集ということにはズブの素人で頭を悩ませたものだった。何はともあれ、発行する広報紙の名称をどうするかが最初の問題で、いろいろの案が出たが、なるべく柔らかい感じのものということで「市民だより」とすることにした。そして、当時は「広報」といった新語は市民に馴染みがなく、一般的に「宣伝」という言葉しか使われていなかったので、私は、にわか勉強でインフォメーション（広報）というのは、プロパガンダ（宣伝）とは本質的に異なるといったことについて解説文を「市民だより」第一号に掲載させてもらった。

そして、「市民だより」は町に一枚だけ配って回覧してもらうようなことでは駄目だから、全戸に配布できる部数を印刷する予算をつけるべきだと執ように頑張って発行したことを思い出します。当時の全市戸数は一万七千五百世帯程度だった。

この「市民だより」が、五〇〇号に達したと聞き、第一号の発行責任者であった私は以来三十有余年の歳月を思い起こし、今昔の感に堪えないとともに、今後とも「市民だより」が市民に愛され、市政の友として育（はぐく）まれて行くことを祈ってやまない。

川尻氏略歴　昭和十年奈良市職員となり、広報文書課長をはじめ税務部長、企画室長、経済部長を歴任し昭和四十七年に退職。現在飛鳥ゴルフ株式会社常務取締役。66歳。住所は市内学園南二丁目。

「市民だより」に望む

市民参加の情報紙へ

奈良地域社会研究会代表　木原勝彬

◎お知らせ広報からの脱却

昭和五十六年の二月に実施された「市政についての世論調査」によると、回答者の九割が市政についての情報を「市民だより」から得ているという。

このことは「市民だより」が、総合的・継続的な行政情報を市民へ伝達する重要な媒体として機能していることを意味する。しかし、その内容が市民の満足を得るとともに、市民のニーズに十分に対応しているとは言い難い。

ここ二～三年の「市民だより」を見てみると、行政からのお知らせやPR的要素が強く、市民が自主的にまちづくりを進めていくための情報は不足しているといえる。

◎市民参加による「まちづくり情報紙」

これからの広報紙は、市民による自主・自律のまちづくりを推進していくための媒体としての役割が重要視される。

そのためには、次の四つの要素が広報紙に要求されよう。第一には、行政の政策や制度などをできるだけ具体的に分かりやすく提示する政策広報的要素。第二には、行政上の諸問題を市民に公開することによって、市民の問題意識を高めるための問題提起的要素。第三には、広報紙づくりの編集に市民が参加する編集参加的要素。第四には、地域別に細やかな情報が提供できる地域別広報体制の確立。

以上の諸要素をこれからの広報紙づくりに取り込むことによって、市民と行政の共同媒体としての「市民だより」が、市民のための「まちづくり情報紙」としての役割を果すことになると考える。

（37歳、今市町）

転勤家族の導きに

ミニコミ紙「平城新聞」編集者　吉野江美子

私たち一家は、主人の転勤で東京から関西へ、そして北陸へと移り住んで、十年前から奈良市民の一員となった。〝たより〟ときいて懐かしくおもいだされるのは、独身時代から永年読み慣れた新聞の地方版を、主人の母が毎日切り抜いて何年もの間送りつづけてくれたことである。「母さん、もう奈良市民になれそうだからいいよ」と言って、送ってもらわなくなってから数年になる。

ふるさとの地方版を卒業した今、手元に届くたよりは鹿のマークのデザインに映える奈良「市民だより」になっている。

私たちが一面右上の市民のうどき人口欄に入れていただいた十年前は、奈良市の人口約二十三万人のときだった。ちょうど二百六十一号、〝平城ニュータウンに新しい息吹き〟の一面トップ見出しのあとになる。

あれから十年、毎月二回、一日と十五日に手元に届くたよりは「積極大型予算、総額二百億円の大台へ」「七月は差別をなくす月間、部落差別を許さぬ心を育てよう」、そして「市制七十七年にして人口二十五万人」「下水道完備にむけて整備計画」「待望の声の図書館開館」「ゴミ分別収集はじまる」、そして毎号たのしみの四面の催し記事。

市民だよりはいつも詳細な情報をわかりやすく提供してくれた。私たち転勤家族に、奈良市を教えてくれた市民だよりに今とても感謝している。十年たって、やっと奈良市民らしくなれたとしたら、市民だよりのおかげだと思っている。（37歳、山陵町）

他人のめいわくになる青空駐車はやめましょう

＝以下第三面へつづく＝

「市民だより」第一号（昭和25年9月1日）のフロントページ

＝市民だより五〇〇号記事のつづき＝

主婦専用の面も

ママさん特派員　河本　裕子

奈良市「市民だより」創刊五百号おめでとうございます。

長い間「市民だより」を読んで、奈良市民のための日常生活の情報がふんだんに盛り込まれていてとても読みやすく、毎号楽しみにしています。五百号という節目に立って今後の紙面刷新について、若干の提案をさせていただきます。

国際的にも名高い奈良市の特殊事情、観光県の中核都市に住んでいるという認識を皆さんがお持ちだと思いますので、例えば同じ観光都市である京都や鎌倉などの市民生活と比較してみたり、海外ではパリやローマ市民の生活事情などが掲載できればよりいっそう興味深いものとなるのではないでしょうか。

また、視覚的にうったえるという意味で、カラー写真掲載を多用していただき、見やすい、きれいな紙面づくりに取り組んでいただけたらと思います。

でも、コストアップになる事でしょうから、例えば広告を載せて協賛費用を出していただくとかすれば解決できると思います。

このほか、市民生活の安全に目を向けた記事として、例えば交通事故「ワーストスリー地区」を発表したり、「ここが危険」といった場所の写真を付けて市民から投稿してもらって掲載し、何らかの解決策を具体的に実行していただくといったような信頼感のある紙面づくりを希望します。

さらに、主婦専用のページや、老人の方々のために活字も大きくして「シルバーエイジ欄」をつくっていただき、情報交換欄を設けることができればすばらしいことだと思います。

また、市民のために縁の下の力持ちとしてがん張ってくださっている方々にスポットを当てて紹介する欄なども必要なことだと思います。

来たるべき一千号を目指して、益々充実した紙面づくりに励んでくださることを期待いたします。（31歳、三条大路南四丁目）

☆　☆　☆

奈良国際文化観光都市建設法国会通過

九月二十日住民投票

奈良国際文化観光都市建設法

第1号紙面を飾る奈良国際文化観光都市建設法の成立記事

市展「なら」　募集要項

来春第1回展ひらく

奈良市では、市民の美術・文化に対する知識の向上と美術作品創作意欲の高揚を図り、市の文化振興に役立てようと、市展「なら」を創設、来春その第1回展を開くことになりました。

その日程は、来年3月10日～19日を前期、同31日～4月9日を後期として開催、前期は日本画、洋画、彫刻、後期は工芸、書、写真を展示します。会場はいずれも市史跡文化センターとなっています。

応募できるのは16歳以上の方々で、作品は未発表のもの1人2点まで出品できます。出品手数料は無料。　細かい応募要項はつぎの通りです。

◉出品規格

▷日本画　10号以上50号以内で額装すること。50号を超える場合は横幅117㎝、高さ180㎝以内とします。

▷洋画　10号以上50号以内で額装すること。50号を超える場合は横幅117㎝、高さ180㎝以内とします。

▷彫刻　横幅150㎝、奥行150㎝、高さ200㎝、重さ150㎏以内とします。

▷工芸　平面作品は縦150㎝、横幅150㎝以内とし、立体作品は縦150㎝、横幅150㎝高さ150㎝、重さ150㎏以内とします（魚拓、珍木、盆石、手芸に準ずるものは除きます）。

▷書　縦型作品は180㎝×60㎝、横型作品は60㎝×152㎝。方型作品は152㎝×152㎝以内とし、枠張りまたは額装してください。

▷写真　モノクロまたはカラーで、半切から全倍までとし、額装またはパネル装としてください。

組写真は縦162㎝、横130㎝以内とします。

◉搬入

▷前期　来年3月5・6日午前10時～午後4時

▷後期　同3月26・27日午前10時～午後4時

▷受付場所　奈良市史跡文化センター（三条大路一丁目）展示ロビー

▷その他　官製はがきに出品者へのあて名を明記したもの（審査結果通知用）をご持参ください。（折らないこと）

◉賞

市展賞　1名　▷市長賞　1名　▷市議会議長賞　1名　▷市教育委員会賞　1名　▷奨励賞　3名　（以上各部門ごとに）

注＝お問い合わせは奈良市企画課（二条大路南一丁目、☎34－1111）へ

秋の叙勲

市内在住の受章者は十五氏

秋の叙勲が十一月三日政府から発表されました。地方自治、教育、行政、産業、運輸、通信などそれぞれの分野で永年にわたって活躍された人ばかりです。市内在住者で今回受章されたのはつぎの十五人です。（洋数字は年齢、敬称略）

◇勲三等旭日中綬章
山縣茂太郎　76（教育功労）西登美ケ丘三丁目

◇勲三等瑞宝章
富山興太郎　76（教育功労）法蓮町
松野良典　70（矯正業務功労）七条町

◇勲四等旭日小綬章
中嶋末義　73（矯正業務功労）五条町

◇勲四等瑞宝章
上田佐武郎　71（教育功労）西大寺宝ケ丘
大門甚平　70（通産行政功労）中山町
辻太郎　70（電気通信事業功労）法蓮町

◇勲五等双光旭日章
茨木基則　70（地方自治功労）二名町

◇勲五等瑞宝章
石田貫重郎　80（調停委員功労・林業振興功労）登大路町
直井深　71（運輸行政事務功労）東登美ケ丘一丁目

◇勲六等単光旭日章
野村昇一　70（中小企業振興功労）鳥見町一丁目

◇勲六等宝冠章
山田ヒサエ　63（看護業務功労）西登美ケ丘四丁目

◇勲六等瑞宝章
藤村直一　68（鉄道業務功労）二条大路南五丁目
細井義春　63（矯正業務功労）山陵町

◇勲七等瑞宝章
八木勲夫　63（矯正業務功労）興善院町

褒章

市内で七氏受章

この道ひと筋にはげみ、模範とされる功績をあげた人におくられる秋の褒章を、市内ではつぎの七人が受章されました。（洋数字は年齢、敬称略）

◇黄綬褒章
乾昌秋　62（業務精励・食品卸売業）敷島町一丁目
平野喜三郎　60（業務精励・文化財保存修理業）三条本町

◇紫綬褒章
永島福太郎　69（日本中世史研究功績）法蓮町

◇藍綬褒章
大東善治　61（環境衛生功績）北市町
開高覺　67（自動車運送事業功績）登美ケ丘四丁目
丸岡吉和　84（更生保護功績）絵陽町
山口節子　67（調停委員功績）大豆山町

防火意識高める

26日から　秋の火災予防運動

「火の用心　心で用心　目で用心」を統一スローガンに十一月二十六日から十二月二日まで、全国一斉に秋の火災予防運動が展開されます。

この運動は、寒さに向かい火災が起こりやすい時期に、住民ひとりひとりの防火意識を高めて火災の発生を防ごうというものです。

今年は
。身体不自由者・幼児・老人らの焼死防止対策の徹底。
。家庭での防火対策（家庭内の火災危険の排除、消火器の使用方法の周知徹底）を重点目標にかかげています。

市消防本部では運動の期間中に防火座談会、電話パトロール、自治会を対象とした消火器の取り扱い説明、福祉施設・病院・百貨店など防火対象物の特別査察、消防訓練などを行い、火災防止を呼びかけます。

ひとり暮らしや寝たきり老人へ　とくに火の用心

とくに、ひとり暮らしや寝たきり老人家庭では、火災の発見が遅れたり、逃げ遅れて犠牲になる危険性が高く、毎年全国で悲惨な焼死事故が後を絶ちません。昨年全国で火災による死者は千二百二十六人で、そのうち自力避難困難者が六百六十人も占め全体の54％にのぼりました。

そこで、市消防本部ではこのような事故を未然に防ぐため、九月の「福祉月間」にちなんで、市内全域のひとり暮らしか寝たきりの老人のいる家庭五百三十六世帯を女子消防士が訪問しました。この結果、百二世帯が指導を受け、約五世帯に一世帯の割で何らかの欠陥が指摘され指導を受けたことになっています。指導の内容の主なものは次のとおりです。

一　ガス器具周辺の可燃物44％＝器具のまわりに燃えやすいものが置いてあったり、器具の周辺を不燃材で囲っていないなど。

二、ガス器具の不完全34％＝ゴム管が老朽化している。ホースバンドをしていない。ボンベの転倒防止をしていないなど。

三、ふろ設備の不完全9％＝煙突が破れている。たき口を整とんしていないなど。

四、小量危険物の届出をしていない5％＝灯油百㌔以上を消防長に無届で貯蔵しているなど。

これからわかるように不備事項の多くはガス器具やその周辺に集中しています。ガスが原因の火災は爆発を伴うことが多いため、指導を受けた個所は早急に改善し、防火に努めてほしいものです。このほか、お年寄りや幼児の焼死事故を防ぐためには、日ごろから〝イザ〟という時に避難しやすい場所に寝かせるよう心がけてください。

この調査結果の数字は一般家庭の場合と大差はありませんが、ひとり暮らしや寝たきり老人家庭では、ひとたび火を出せば一般家庭に比べ人命の被害が大きくなる可能性をはらんでいます。近くにひとり暮らしや寝たきりのお年寄のいる場合は細かな配慮が必要でしょう。

楠下氏に厚生大臣表彰

民生児童委員

地域住民の福祉と深いかかわりをもつ民生児童委員を長年つとめ、その活動に功績のあった楠下義一さん（71歳、大安寺町）が十一月五日、東京で開かれた全国社会福祉大会の席上、社会福祉事業功労者として厚生大臣表彰を受けられました。

平城宮跡菊花大会の入賞者

市と県菊花連盟共催でさる十月二十日から市役所玄関前広場で開かれている第十二回「平城宮跡菊花大会」の審査が十一月八日行われ、出展者が心こめてつくった見事な作品五百三十七鉢のなかから市関係では次の方々が入賞しました。（敬称略）

【総合優勝】吉岡正男
【大菊三本立て花壇】吉岡正男▽西田芳一▽南沢弘▽前田広久▽荒井正一▽佐々木定人▽西脇一雄
【盆栽組み】阪原義雄▽岩名正明▽増田兼夫▽広瀬正三
【特殊総合花壇】西口重一▽伏見小学校
【福助組み】奥田則子▽占部冨美▽浦部和子▽中川安次▽北野作男▽清川久男▽西藤綜道▽永井清
【福助三本立て】荒井正一▽西田芳一
【一般市民】清まき子▽松本弘▽小西法子▽久保悦子▽日下良順
【切花】奥田則子▽佐々木定人▽西田芳一▽川島寅一郎▽中川安次▽前田広久▽浦部和子▽長本亮二▽西口重一▽木村政雄▽吉村秋一
【特別出品芸術賞】中川安次

文化財メモ ⑮

池田荘

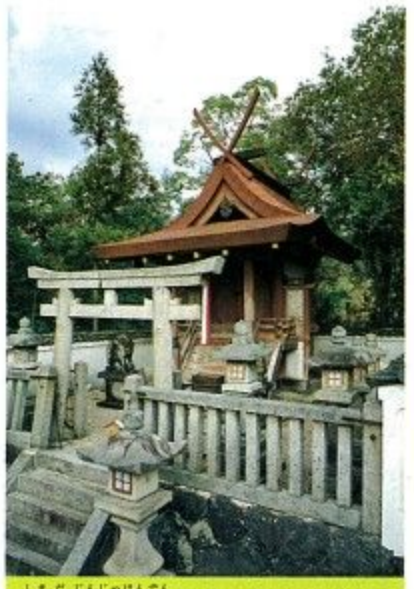
奈良市池田町は、中世に興福寺一乗院を領主とする池田荘と呼ばれる荘園で、荘園の姿をよく今に伝えている集落として知られています。鎌倉時代の土地台帳でその全体を知ることができるが、それに記載されている田・畑・屋敷などが現在のどのあたりにあったかがすぐわかります。たとえば、田や畑の大きさは、現在その境の線があぜ道で残っており、屋敷地は鎌倉時代のもののほとんどが現在の集落の部分に相当しています。当時の村堂は、今の熊野神社と池田町の公民館の位置と一致します。このように池田町は、中世の荘園の景観がほとんど変わらず、守り伝えられている全国的にも珍しい例ということができます。

【あし】国鉄帯解駅下車、広大寺池を回って南西へ十分。

奈良市指定文化財

鏡神社本殿　（高畑福井町　鏡神社）

嶋田神社と同じ春日移しの社で、延享3年の造営の際銀子1貫700匁で譲り渡されたという。昭和34年の修理で屋根裏から「三ノ御殿」の墨書銘が発見され、春日大社の第三殿であることが判明した。



嶋田神社本殿　（八島町　嶋田神社）

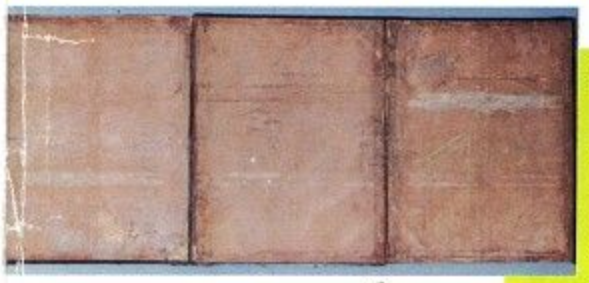
室町から江戸時代末期まで、春日大社では式年遷宮のとき本殿の改築が行われていた。これはその際不要となった本殿の第二殿を譲り受けた春日移しの社で、階段に刻まれた銘から、現存の春日移しの社としては最古の例かとも言われている。

銅造釈迦誕生仏
（十輪院町　十輪院）

十輪院本堂内に安置された小像（高さ8cm）である。裳裾の曲線から白鳳に近い時期の作品と見られる。右手先端は欠損し、軽く火にあったようで金ぱくもおちて黒ずんでいる。光背と台座がないため長い間注目されずにきたが、奈良時代の誕生仏としては貴重である。

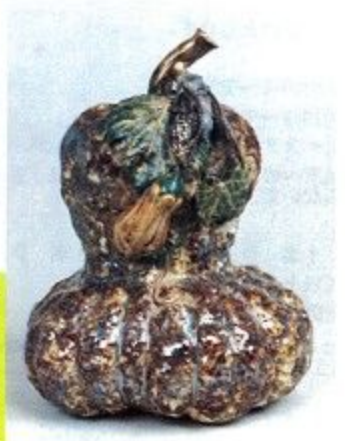
浄教寺のソテツ　（上三条町　浄教寺）

樹齢約250年と推定される古木。ソテツの分布範囲の北限近くに生育しているもので、雄株とみられる。根元から大小合わせて25本もの幹が出ており、根株の周囲は6.5mある。



春日権現験記台
（春日野町　春日大社）

春日権現験記絵（延慶2年、高階隆兼筆）を見るために使った書見台。表は黒漆塗の縁どりをした中に紙本金銀泥絵で春日大社の風景を描いたもので、験記絵と同じく高階隆兼筆である。鎌倉時代の春日大社の様子を知る資料として貴重である。



赤膚焼　木白作　蟬飾付唐茄子形花器　（水門町　寧楽美術館）

江戸時代末期の商人奥田木白の手による。装飾の蟬は陶器とは思えないほどの写実の妙を極めている。他に木白作で灰釉印花文燈籠も市指定文化財となっている。

一刀彫白鹿　（春日野町　春日大社）

一刀彫を再興したといわれる森川杜園47歳（1866）の作品で、春日若宮に奉納したもの。像底に長方形の彫り込みを作りこの中に玉を納め銘文と歌を記している。わずかに折れていた両角の先端は近年一刀彫作家によって補修された。

王竜寺のヤマモモ
（二名町　王竜寺）

約250年の樹齢とみられ、県下でも珍しい。雌株で樹高約10m、目通りの周囲約2.6mの主幹は、内部が朽ちて空洞になっている。側幹は3本あり、最大木は目通り約1.4m。他の2本は昭和25年の台風によって上部が折れている。

旧田中家住宅
（現在は解体保存中）

「法蓮づくり」と呼ばれた農家の構えを原形に近い形で今に伝えるもの。法蓮づくりとは、江戸時代から農家が狭い間口の宅地を互いに隣接してもち、切妻ワラぶき屋根を町屋と同様に建て並べたもの。法蓮南一丁目の田中秀夫さんが自宅の改築にあたり市に寄付された。

見学のできる市指定文化財

五劫院本堂と表門

奈良阪行バス今在家下車東へ徒歩5分。道路をはさんで西向い側に市所有の県指定文化財である民家細田家があるので合わせて見学できる。

嶋田神社本殿

山村町行バス八島町下車東へ徒歩10分。途中崇道天皇陵の側を通る。

鏡神社本殿

市内循環バス破石町下車東へ徒歩10分。新薬師寺の門前西隣にある。

銅造釈迦誕生仏　十輪院

天理・桜井・菟田野町行バス福智院町下車南西へ徒歩5分。近鉄奈良駅から旧奈良町を歩いていくのも面白い。十輪院は、本堂、石仏などのほかにも見るものは多い。

木造祐全上人坐像　西方寺

国鉄奈良駅から北へ、近鉄奈良駅から西へ徒歩10分。市内循環バス油阪下車バス停の近く。

赤膚焼　木白作　寧楽美術館

市内循環バス博物館前下車北へ徒歩5分。美術館は名勝依水園の中にあり、東洋古美術品を収蔵・展示している。指定の品は出品中のみ見学可能である。

登弥神社の粥占い

近鉄富雄駅より郡山行バス木島下車北へ徒歩5分。毎年2月1日朝4時から。

馬図絵馬　秋篠寺

近鉄西大寺駅より押熊行バス秋篠寺前下車。希望すれば見学できる。

浄教寺のソテツ

近鉄奈良駅から南西へ、国鉄奈良駅から東へいずれも徒歩10分。三条通り。

王竜寺のヤマモモ

近鉄富雄駅より高山・傍示行バス上町高樋下車西へ徒歩15分。

春日大社境内のイチイガシ巨樹群

市内循環バス春日大社前下車。春日大社境内一円に散在。

奈良市文化財保護条例と市指定文化財

奈良は長い歴史のある古都であり、世界に誇れる多数の文化財があります。これら文化財は、いずれも私たちの先祖が守り伝えてきた貴重なもので、未来の文化創造の基礎となるものです。市ではこれらの文化財を大切に保護し、市民生活の中に生かしていくために、昭和53年に「奈良市文化財保護条例」を制定し、同54年からはこの条例にもとづき、市指定文化財の指定をはじめました。

市内にある指定文化財は、国宝、重要文化財をはじめとする国指定のものが686件、県指定文化財が74件あり、これに市指定文化財21件を加えると781件の多数にのぼっています(10月31日現在)。このほか、市内には無数の文化遺産が残っていて、この中には文化財として価値の高いものや、奈良の歴史を知るうえで貴重なものも多くあり、市では現在その調査を行っています。そして特に大切なものを奈良市指定文化財に指定しています。

今回とりあげたのは、今年6月までに指定した21件の市指定文化財です。

馬図絵馬（秋篠町　秋篠寺）

昭和39年に見つかったもので5枚が7片に分かれている。このうち、裏面に「奉施」と「応永」(1394～1460)の墨書のあるものがあり、現存の紀年銘をもつ絵馬ではわが国最古のものである。

木造狛犬（雑司町　手向山神社）

手向山神社本殿入口にある三対六体のうちの一体で、他の五体とくらべ年代が古く鎌倉時代の作品とみられ、作風も傑出している。

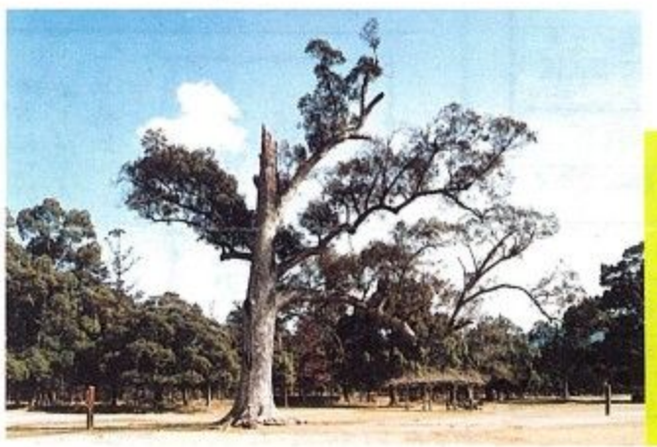
ひのき材の寄木造に布をはり、彩色を施したものであるが、現在も一部に彩色が残っている。

木造祐全上人坐像（油阪東町　西方寺）

祐全上人は西方寺を開いた僧で、永禄三年（1560）没。像は寄木造等身大の坐像で室町時代の作品である。像内から上人のものとみられる骨や歯の一部が発見されたので、坐像が墓石代りになっていたと思われる。

絹本著色慈真和尚像（法華寺町　法華寺）

掛軸の表装で絹地に彩色で描かれている。慈真和尚の画像は、鎌倉時代のものでは他にパリのギメ美術館にある作品だけで、作柄、伝承ともに価値が高い。



春日大社境内のイチイガシ巨樹群（春日野町　春日大社）

イチイガシは、西日本の各県に生育しているが、ほとんど単木で、春日大社境内のように樹齢200年以上の大木が群生している例は少ない。この地域の原植生がイチイガシ林であったことを示すものとして極めて重要で、数百本が生育しているが、指定は目通りで周囲3m以上のものを対象にしている。

五劫院　本堂・表門（北御門町　五劫院）

五劫院は東大寺の末寺で、有名な五劫思惟弥陀仏坐像(重要文化財)のために俊乗坊重源が小堂を建立したことに始まるとされている。現本堂は元和10年(1624)に再興されたものである。表門は寛永22年(1645)建立、もとは主柱二本であったが、現在は控柱4本を加えている。

登弥神社の粥占い（石木町　登弥神社）

氏子のいる五大字の五座がそれぞれ年交替で、一年の作物の出来高を占う行事で、江戸時代前期にまでさかのぼるとみられる。湯釜に米、小豆と、長さ約20cmの青竹の筒37本をすだれ状に編んで束ねたものを入れて粥をたき、1時間後に1本1本の竹を割り、中に入った量を見て、その年の農作物37品目の豊凶を占う。

井上町町中年代記（井上町）

江戸時代以来、井上町惣代が記してきた町内日記であるが、たんに井上町のことだけではなく、江戸時代の奈良町のようすがわかる豊富な内容が盛りこまれている貴重な歴史資料である。江戸時代の4冊が指定されている。

重源上人相博状（南魚屋町　吉田淳一氏）

鎌倉時代に東大寺復興の最後の仕上げの大仏殿内観音菩薩などの造立の時、必要な漆を手に入れるため、京都の尼御前が同寺に寄進した屋敷と内大臣源通親の所持する漆を交換したとき交した文書で、俊乗坊重源の花押がある。

自在王菩薩経（法華寺町　海竜王寺）

上下2巻のこの経は光明皇后が父母追善供養のため書写した一切経の残巻で天平15年(743)5月11日の願文があり、天平書写の代表的遺巻である。表紙はもとのが失われ、後補されている。(右)

般若心経（法華寺町　海竜王寺）

隅寺心経ともいわれ、各1紙に1部ずつ書写したものを10部つなぎ合わせて1巻に合装したもので、奈良時代の書写である。各部にはいずれも頭書に「心経」とだけ内題し、奥題はない。本文は16行、1行17字が基準。(左)

手向山神社文書および記録（官宣旨ほか4点）（雑司町　手向山神社）

官宣旨は鎌倉時代に同神社の祭礼に際して畿内に殺生を禁じた下文（命令書）で、各行の頭字が大きく最後は小さく書かれている。他に、後宇多上皇院宣、足利義満下知状、後奈良天皇宣命、東大寺絵所日記が指定されている。

夜間運転

致死率は 昼間の三倍！

守ろう 安全運転五カ条

昼夜を問わず、車の運転に慎重さが必要なことは言うまでもありませんが、特に夜間は①視界が極めて狭い②昼間とはスピード感覚が異なり、スピードを出しやすい③疲労のため居眠り運転が多くなりがちで、また歩行者も冬は黒系統の衣服が多く、なかには酔って歩く人がふえる――などの特徴があるため、より一層の緊張感が必要です。

昭和五十六年中の昼夜別の全国の交通事故件数は、昼間が48・1％で、夜間は51・9％とほぼ同率ですが、これを致死率（事故千件あたりの死亡件数）で見ると、昼間の11・2％に対して夜間は33・0％と約三倍にもなっています。

これから夜の長くなる冬場に向かい、夜間運転にはより一層の注意が必要です。ドライバーの皆さんは次にあげるポイント五カ条を十分守ってください。

第一条　ライトは早めにつけよう

夕暮れ時は、わたしたちが〝まだ明るい〟と感じる以上に実際には暗いので、ライトは早目につけましょう。

第二条　スピードは昼間より控える

夜間は視界が悪く、バックミラーやサイドミラーも見えにくいので、運転に必要な視覚からの情報量が昼間より極端に少なくなって速度感覚が鈍化し、そのためにスピードを出し過ぎることになります。夜間のスピードの出し過ぎは〝自殺行為〟に結びつきます。夜間のスピードは昼間より相当控え目にしましょう。

第三条　居眠り運転はしない

運転をしていて眠くなったら、まず車を止めて休む。「まだ大丈夫」と思っても睡魔は退散しない。

車を止める場合は、安全な場所を選ぶ。また眠気を防止するために、車内温度の調節や新鮮な空気のとり入れに気を配る。

第四条　見通しの悪い地点では合図をする

見通しの悪い交差点やカーブの手前では、ライトを点滅したり上向きにして、自分の車の存在を対向車や歩行者などに知らせましょう。

第五条　横断する歩行者を見失うな

自分の車と対向車のライトが交錯したとき、道路の中央を横断する歩行者や自転車を一瞬見失うことがあります。これを蒸発現象といいますが、次の瞬間ドライバーが相手を発見したときは、もう遅いという状態で人身事故につながります。対向車のあるときはライトを必ず下向きにしましょう。

市立図書館

（市内東寺林町三八、電話㊹六一〇一番）

休館します　十一月二十二日（月）と二十三日（火＝勤労感謝の日）、二十九日（月）と三十日（火＝月末休館日）はいずれも連休になります。

予約をどうぞ　読みたい本の予約（リクエスト）を電話でも受け付けます。気軽に利用してください。

婦人バレーボール 四十路大会

市婦人バレーボール協会では、市教育委員会の後援で、四十歳以上の婦人のために四十路大会をつぎのように開きます。参加希望者ははがきに住所、氏名、年齢を書いて十一月三十日（必着）までに市体育課（二条大路南一丁目、☎㊹一一一一）へ申し込んでください。参加料は無料。

ときー十二月五日（日）午前九時～午後三時▽ところ＝市中央第二体育館▽対象＝市内在住の初心者▽内容＝試合と基礎練習▽その他＝弁当、体育館シューズ持参

『平城京まちとくらし』展

発掘調査の出土品・写真など展示

市教育委員会では、同委員会の平城京発掘調査の成果を中心に出土品、写真等を展示し、いにしえの奈良の都に住んだ人々のくらしを紹介する「平城京まちとくらし」展をつぎのように開催します。

ときー十一月二十日～十二月七日（水曜日を除く）午前九時～午後四時半▽ところ＝市史跡文化センター展示ロビー▽主な展示資料＝平城京出土の瓦・鬼瓦や奈良時代の三彩陶器、土器、墨書土器、土馬、くし、帯金具、銭貨（和銅開珎、神功開宝、万年通宝）、ガラス玉、碁石など▽入場無料。

スポーツ活動指導者研修会

市教育委員会ではスポーツ活動指導者研修会をつぎのように開きます。参加希望者は十一月三十日までに電話で市体育課（☎㊹一一一一）へ申し込んでください。

ときー十二月四日（土）午後一時半から▽ところ＝市役所六階正庁▽対象＝①地域でのスポーツ活動指導者②スポーツ少年団・勤労スポーツ青年団の指導者と代表者③体育指導委員▽内容と講師＝「スポーツマンとしてのマナーと指導者のあり方について」元全日本バレーボールチーム監督中村祐造氏

11月30日は 固定資産税 都市計画税（第三期分）の納期限です

下水道処理区域へ四〇九戸

市の下水道工事が進み、このほどつぎの各町の一部計四〇九戸で浄化槽のいらない水洗便所が使えるようになりました。全市でこれまでの分とあわせて三万二千二十四戸が下水道の便益を受けることになりました。

法蓮町▽大宮町三丁目▽御所馬場町▽三条添川町▽三条宮前町▽三条町▽六条町▽五条町▽中町▽押熊町▽中登美ケ丘二丁目

市政ビデオテープお貸しします

奈良市政を多角度から紹介するため、市では市庁舎待ち合いホールと西部出張所にビデオ装置を置いて、来庁の市民の方に自由に見てもらっています。番組は両方で九本ですが、さらに多くの市民に見てもらうため、貸し出し用のテープをつぎのように用意しています。学校の教材や各種の会合時にご利用ください。テープはVHSとベータマックスの二種類を用意しています。

「歴史の道」▽「奈良市の伝統工芸」▽「五聖地めぐり」▽「奈良市の水道」・「奈良市の清掃」▽「奈良市の公民館活動」・「スポーツ施設案内」▽「奈良市の消防」・「奈良市の下水道」

申し込みは広報公聴課（二条大路南一丁目、☎㊹一一一一）へ。

11月30日は 下水道事業受益者負担金（第三期分）の納期限です

年賀状のあて名書き

市のシルバー人材センターへどうぞ

高齢者の豊かな経験と能力を生かして、働くことを通じて社会参加できる機会と条件をつくり、高齢者の生きがいを高め、老人福祉に寄与しようという奈良市シルバー人材センターでは、年末をひかえ年賀状のあて名書きの仕事を募集します。

年賀状のあて名書きは一枚二十一円、ペン書き十一円で、いずれも手慣れた会員が当たります。

年賀状のあて名書きについては市役所内の同センター（二条大路南一丁目、☎㊹一一一一）へお問い合わせください。

＊　＊　＊

信州でスキー学校

＝市子連＝

市子ども会育成連絡協議会（市子連）では、つぎのように第三回信州スキースクールを実施します。今回は年末から新年にかけて別表の三コースを計画しています。各コースとも国鉄奈良駅を午後十時に出発、帰りは午前六時ごろ到着の予定です。

参加希望者は、はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、性別、参加希望コースを書いて十二月十日までに、市社会教育課内、市子連事務局（二条大路南一丁目、☎㊹一一一一）へ申し込んでください。詳細は本人に通知します。

コース	月日	宿舎	定員(人)	参加費	スキー場
1	12月24日～29日（5泊6日車中2泊）	さわだ館（民宿）	高校生以上40 小・中学生40	30,000 29,000	国設戸狩スキー場
2	12月29日～1月3日（5泊6日車中2泊）	〃	家族・グループ 40	32,000	〃
3	1月3日～7日（4泊5日車中2泊）	のりくら高原ユースホステル	高校生以上40 小・中学生40	21,000 20,000	のりくら高原スキー場

善意ありがとう 善意銀行

九月三十日　行基噴水喜捨分五千九百四十六円。

十月一日　二名町の掛本幸宏さんと同佳代さんから車イス一台。▽日笠町の山中善六さんと誓多林町の西野サダさんから「老春の家」へ番茶四十キロ。

同二日　春日野町の藤井タミさんから米寿記念に百万円。▽登美ケ丘四丁目の藤山カヨさんから愛の定期便三千円。

同四日　三条大路五丁目の杉田昌弘さんから善意の小箱義金三千五百十五円。

同六日　三碓町の平石明彦さんから書籍百冊。

同八日　南紀寺町四丁目の奈良ベタニヤ教会ぶどうの会から身障者福祉に八千六百五十円。

同十二日　二条大路南四丁目の矢田徳一さんから社会福祉に一万円。

同十八日　匿名氏から五千円。

同二十日　鳥見町三丁目の山本智子さんから社会福祉に十万円。

同二十一日　市4Hクラブから市内の福祉施設へさつまいも三百キロ。

同二十三日　三条大路三丁目喫茶エイトから六百円。

同二十八日　鶴舞団地自治会物資部から県肢体不自由児父母の会へ三万六千四百十円。▽尼辻西町の坂口裕昭さんから千円。

ゴミ収集

十一月二十三日（火）の「勤労感謝の日」は「燃やせるゴミ」の収集を休みます。この日にあたる地区は十一月二十六日（金）に収集します。

奈良市職員募集

＝受験申し込みは27日まで＝

昭和58年度奈良市職員採用候補者を次の要領で募集します。受験希望者は11月22日～11月27日（祝日を除く）に市人事課内奈良市職員任用試験委員会（☎㊹4706）へ手続きをしてください。

◇職種・採用予定人員

一般事務職＝大卒35人、短大・高卒各若干名▷保母職＝10人▷技術職（土木・建築）＝各若干名、（機械・電気）＝各1人、（文化財）＝大卒2人▷保健婦＝若干名▷消防職（男子）＝15人

◇受験資格

本市への通勤が可能で次の資格要件（学歴免許並びに年齢）を満たすもの。

●一般事務職
大学（昭和32年4月2日以降生まれ）短大（昭和34年4月2日以降生まれ）高校（昭和36年4月2日以降生まれ）を昭和56年3月以降に卒業したものおよび来年3月卒業見込みのもの。

●保母職
昭和22年4月2日以降に生まれ、高校以上の学校を卒業（卒業見込みを含む）し、保母資格取得者または来年3月資格取得見込みのもの。

●技術職（土木・建築・機械・電気）
大学（昭和32年4月2日以降生まれ）短大（昭和34年4月2日以降生まれ）高校（昭和36年4月2日以降生まれ）の専門課程を昭和56年3月以降に卒業したものおよび来年3月卒業見込みのもの。

●技術職（文化財）
大学（昭和32年4月2日以降生まれ）の専門課程を昭和56年3月以降に卒業したものおよび来年3月卒業見込みのもので学芸員資格取得者および来年3月取得見込みのもの。

●保健婦
昭和22年4月2日以降に生まれ、高校以上の学校を卒業し、保健婦免許取得者および来年3月取得見込みのもの。

●消防職

年齢	昭和32年4月2日～昭和40年4月1日生まれ
身長	1.60㍍以上のもの
体重	52㌔以上のもの
視力	両眼の裸眼視力が0.7以上のものまたは両眼の裸眼視力が0.1以上で矯正視力が0.7以上であるもの
色神	正常なもの
聴力	2㍍の距離において低語を聴取できるもの
言語	明瞭で十分発声できるもの
体軀	健康で伝染性疾患のないもの
住居	任用後は本市域内に居住できるものまたは本市近郊地域に居住できるもので試験委員会が適当と認めたもの

◇採用試験

●第一次試験
12月5日（日）午前9時～午後零時30分、市立一条高等学校（保母職、消防職受験者は市立三笠中学校）で筆記試験発表は12月下旬市役所に掲示、本人にも通知する。

●第二次試験
昭和58年1月中旬、面接による口述試験、一般事務職、技術職、消防職は適性検査、作文、体力テスト等、保母職は適性検査、作文、音楽等実技試験を行う。発表は昭和58年2月中旬。

◇受験手続き

11月22日～11月27日（祝日を除く）に市役所3階第5会議室で受け付ける。試験申込書（近畿高等学校統一の履歴書）、受験票、試験実施要項は11月15日から市人事課内市職員任用試験委員会で渡します。受験申込みの提出書類は試験申込書、受験票、学校成績証明書および卒業証明書（または卒業見込証明書）と保母、文化財技術、保健婦を受験するものは別に受験を希望する職種の資格証明書（または資格取得見込み証明書）各1通。

郵便による請求、申込みは返信用封筒と切手を同封すること。

風雪に耐えて半世紀

『あっという間の50年でした』

金婚祝賀会に134組

めでたく金婚を迎えた夫婦に祝酒をついで回る木山市長夫妻

結婚してから丸五十年。昭和の激動期を手をとりあって歩み、めでたく金婚の喜びを迎えたご夫婦をお祝いする市の金婚祝賀会が、ことしも「文化の日」の十一月三日午後一時から市役所正庁で開かれました。招かれたのは「五・一五事件」が起こった昭和七年に結婚した夫婦で、この日出席したのは百三十四組。

会場には木山市長ら市三役、岡田市議会議長、横井同副議長がそれぞれ夫人同伴でお祝いに参列しました。

式は金春流の祝儀能「小鍛冶」ではじまり、木山市長は充子夫人とともに会場をめぐり、金婚夫婦の一組一組に「金婚おめでとう」「これからもお元気で」と声をかけ、ねぎらいながら祝酒をつぎ、西田助役夫妻が夫婦ばしと狭川明俊東大寺長老らが書いた色紙など記念品を手渡してまわりました。

つづいて木山市長、岡田議長のお祝いのことばがあってから、会場中央に大きなウェディングケーキが引き出され、参加夫婦のうち、この日が結婚記念日にあたる帝塚山南一丁目の松本定一さん（77歳）・タツエさん（76歳）夫妻が大きな拍手の中、五十年の思いをこめてナイフを入れました。

このあと茶話会では一条高校琴クラブの箏曲をバックミュージックに昔話に花を咲かせました。東向北町で大正年間から書店を開いている豊住謹一さん（72歳）・タミノさん（71歳）夫婦は「太平洋戦争をはじめ、多くの事件があって、五十年はあっという間にすぎました。今ではよくここまで来られたなあという思いでいっぱいです。これからは妻とともに気楽に暮らしていきたいと思っていますが、なにせ本屋の虫ですので…」と感慨深げにこもども語っていました。

解放への文化祭

六隣保館でそれぞれ開く

古市隣保館 開館十周年を記念する文化祭が十月三十一日から十一月三日まで開かれました。同館は昭和四十七年九月に開館されて以来、部落解放の拠点として活用されてきました。

十月三十一日には同隣保館南側の高円保育園のリズム室で記念行事が行われ記念式典に続いて前県隣保館連絡協議会長松本弘さんの「隣保館の果たす役割」と題する記念講演があり、午後からは人権作文の発表、子ども会や保育園の活動発表、楽しい素人演芸会や映画会が催されました。

また、同隣保館では「差別を見抜く学習を」をテーマに、館内だけでなく、前庭にも展示物が並べられ、十年を契機に新たなステップへの意欲をみせていました。

ほかにつぎの五隣保館でもそれぞれ独自のテーマを設定して文化祭が行われました。

西之阪隣保館 十一月三・四両日「くらしと学習の中から部落解放の展望をきり開こう」をテーマに開かれました。部落解放にとりくむいろいろな展示物が並べられ、なかでも狭山事件コーナーの犯行現場模型は精巧につくられており、来館者は熱心に見入っていました。このほか、子ども会の8ミリ記録映画の上映もありました。

杏中隣保館 十一月三～五日に「部落解放運動六十年の歴史に学び、完全解放への道を明らかにしよう」をテーマに開かれました。今年で四回目。様々な作品展示のほか、三日には狭山事件の記録映画「十八年目の新事実」が上映され、四日には子どものつどいが開かれ、楽しいゲームなどを通じて部落解放への道を学びました。

杏南隣保館 「差別ととりくむ―自分たちのくらしをみつめて―」をメーンテーマに十一月六・七両日開かれました。今年は同館で活動・学習を続ける各グループによる作品と学習成果の展示発表が中心となりました。

来館者は展示された昭和初期の同地区の地図と、小学生たちの手による現在の同地区の模型とを熱心に見較べていました。

東之阪隣保館 「解放への連帯をひろげよう」をテーマに十三～十五日に行われました。作品・学習成果展示のほか、十三日夜には歌を通じて部落解放を訴え続けるフォークシンガー北川進さんの出演があり、その澄んだ歌声は聴衆の胸を打ちました。また十四日には子ども会を始めとするグループの活動発表が行われました。

横井隣保館 十三～十五日に「水平社創立六十周年―部落解放の歴史と伝統」をテーマとして開かれました。十四日には、保育園から中学校まで、それぞれのグループに分かれて部落解放への願いをこめた劇が上演され、展示とも子ども来館者に感銘を与えました。

古市隣保館十周年記念文化祭で学習発表する高円保育園児

植えた苗が実って

稲刈りとイモ掘り

母子家庭の子ら大喜び

母子福祉センター「母と子の家」では「母と子の農園」で十月三十一日に稲刈りとイモ掘りをし、参加した約四十人の母子は実りの秋の収穫を楽しみました。

まず南京終町五丁目にある農園で稲刈り。六月に母子らで田植えした稲が重く穂を垂れ、お母さんが、刈った稲を子どもたちといっしょにたばねて稲架にかけました。ときおりイナゴやカマキリが飛び出すと、子どもたちは歓声をあげて追いかけていました。この日刈った稲はモチ米で、年末に同センターで行う「もちつき大会」に使われます。

このあと南京終西町にある農園へ場所をかえてイモ掘り。これも初夏に子どもたちが苗を植えたもの。手にしたしゃもじで土を掘りかえすと、大きなサツマイモがゴロゴロと出てきて大喜び。子どもの一人は「帰ったら焼きイモにして」と早速お母さんにおねだり。

サツマイモを掘りあげたあとにはチューリップの球根を植えて、来春の花盛りに楽しみをつなぎました。

＝お母さんが刈った稲を一生懸命たばねる子どもたち

十周年を記念し文化祭

三笠公民館と勤労青少年ホーム

昭和四十七年九月に大宮町一丁目に開館した三笠公民館と勤労青少年ホームの十周年記念文化祭が、十一月七・八両日に行われました。

三笠公民館は市内三番目の地区公民館として勤労青少年ホームは働く青少年の憩いの場、友情を育む場として設置されました。

両館のこの十年間の利用者数（昭和五十六年度末現在）は、公民館が三十一万人、ホームが十九万四千人で、五十六年度の一日平均使用者数は公民館が百十五人、ホームが七十五人となっており、どちらも開館当時の二倍に増えています。また昭和五十七年十月現在で、公民館では十六教室三十五グループが、ホームでは四講座、十クラブが学習活動に励んでいます。

七日にホーム体育館で行われた記念式典には木山市長も出席、館利用者ら二百五十人が集まり、十周年を祝うと同時に、次の十年に向かっての前進の決意を新たにしていました。式典終了後、両館の利用者による芸能学習発表が行われ、コーラスや詩吟など日ごろの活動成果が披露されました。このほか、作品展示、ダンスの夕べ、体育発表、料理実習バザーがあって来館者を楽しませました。

ヤングカーニバルへ子供五千人

第四回奈良ヤングカーニバルが十一月七日、春日野グラウンドと東大寺東塔跡で開かれ、市内の子どもたち約五千人が参加しました。

「友情をひろげよう春日の森で」をテーマに、青年会議所など市内の青少年団体が実行委員会をつくり、各団体がそれぞれに趣向をこらしたプログラムが盛りだくさん。しかし開会式のあとから降りだしたあいにくの雨のため、子どもたちが楽しみにしていたフィールドアスレチックや仮装行列などは中止となりました。

それでも子どもたちは、テントの中で雨をしのぎながら、やさいでっぽうや紙人形をつくったり紙しばいを楽しみました。またフィールド内ではミカン箱を利用したビッグパズルなどに歓声をあげていました。

東塔跡での模擬店はやきソバ、ぜんざい、みたらしだんごなど種類も多く、子どもの食欲をかき立て大にぎわいでした。あやめ池から来たという小学生は「去年も来ておもしろかったから、今日も楽しみにしていました。雨がちょっと残念だったけれど、おもしろいよ」と息をはずませていました。

市民相談

＝12　月＝

市政相談

本庁相談室＝平日午前9時～午後4時。土曜日は正午まで。

西部公民館＝毎週火曜日午後1時～4時。（電話㊐3978番）

法律相談

本庁相談室＝毎週月曜日午後1時～3時。担当弁護士（敬称略）

6日　鈴木辰行　13日　木本　繁
20日　村嶋修三　27日　本間末吉

毎週火・木曜日には裁判所内弁護士控室で弁護士による法律相談があります。それに必要な相談カードは平日午前9時～午後4時に本庁相談室で渡します。

行政相談

本庁相談室＝毎週水曜日午前9時～午後4時。担当相談員（敬称略）

1日　羽渕幹夫　8日　竹　博美
15日　桜井利雄　22日　石橋　孰

人権相談

本庁相談室＝毎週金曜日午前9時～午後4時。担当相談員（敬称略）

3日　東雲　茂男／松田　一雄／赤堀　綾子
10日　植松　宗平／荒木　武／細田　宏
17日　米浪勝之助／小川クニ子／倉橋　良壽
24日　狭川　俊ジ／石原　明フ

年金相談

厚生・国民年金の相談

西部公民館＝毎月第3月曜日午前10時～午後3時。

国民年金課＝毎月第1月曜日午前10時～午後3時。

心配ごと相談

本庁相談室＝毎週金曜日以外の平日午前9時～午後4時、土曜日は正午まで。

消費生活相談

本庁相談室・西部公民館＝毎週火・木曜日午前10時～午後4時。

家庭児童・母子相談

本庁相談室＝毎週金曜日午前9時～午後4時。

福祉第二課＝平日午前9時～午後5時。土曜日は正午まで。

戦没者遺族相談

福祉第一課＝毎月第1金曜日午前9時～午後4時。遺族年金などあらゆる相談。

高年齢者職業相談

本庁高年齢者職業相談室＝平日午前9時～午後4時、土曜日は正午まで。対象は55～65歳前後の人。

電話サービス

電話㊐1211(代)

- 市政への問い合わせ・要望・苦情
- 戸籍謄抄本・附票の写し、住民票の写しの交付予約など。

犬はかならず つないで 飼いましょう

給与所得の年末調整説明会

昭和五十七年分給与所得の年末調整の仕方や、法定調書などの提出についての年末調整説明会がつぎの日程で開かれます。各事業所の経理担当者はぜひ出席してください。

問い合わせは市の市民税課（☎㉔一一一一）か、奈良税務署（☎㉙一二〇一）へ。

とき＝十二月二日（木）午前十時と午後一時半の二回▽ところ＝県文化会館大ホール（登大路町）

クリスマスをユースホステルで

＝市子連＝

市子ども会育成連絡協議会（市子連）では市教育委員会などの後援で「クリスマスをユースホステルで楽しくおくろう」を、ことし新装なった奈良ユースホステル（市内法蓮町、☎㉙一三三四）でつぎのように開きます。

参加希望者ははがきに住所・氏名・性別・学年・電話番号と参加希望月日を書いて十二月十日までに市社会教育課内、市子連事務局（二条大路南一丁目、☎㉔一一一一）へ申し込んでください。

とき＝〈一回目〉十二月二十四・二十五日、〈二回目〉十二月二十五・二十六日。いずれも初日の午後二時半ドリームランド正面入口に集合、翌日午前九時解散▽参加者と定員＝各回とも小学二年生以上、中学三年生まで百人▽参加費＝四千三百円（一泊二食、スケート入場料、コーチ料、保険料、リーダー費、通信費など）▽プログラム＝一日目はスケート教室、クリスマスのつどい、パーティーほか。二日目は朝のつどい、軽スポーツ交流ほか。

障害児にクリスマスパーティー

市で心身障害児クリスマスパーティーをつぎのように開きます。日夜家庭で心身の障害と闘う子どもたちに楽しいクリスマスパーティーのひと時を過ごしてもらおうと毎年開いているもので、ことしで八回目。

とき＝十二月五日（日）午前十時、正午▽ところ＝市身体障害者福祉センター「みどりの家」（市内法蓮町）

全国物価統計調査

総理府統計局では十一月八日から「全国物価統計調査」を実施しています。

この調査は国民の消費生活にとって重要な商品の価格やサービス料金などを調査し、経済運営の基礎資料を作成するために行われる国の基本的な統計調査で、十九日まで続けられます。

調査対象の商店には、県知事に任命された調査員が伺います。ご協力をお願いします。

＝市文書課

米消費拡大大会と農産物即売会

市農協では、第五回米消費拡大大会と農産物即売会などの催しをつぎのように開きます。

とき＝十一月二十七日（土）午前十時～午後三時▽ところ＝市農協農業振興センター（柏木町）▽内容＝新米のもちつき大会、かやくごはんとぶた汁の食べ放題コーナー、農産物・花木の即売コーナー、チャリティーバザー即売コーナー（正午開場）など。

花木の展示即売

市農協花木専門部会では、つぎのように花木の展示即売会を開きます。

とき＝十二月四・五両日午前九時～午後五時▽ところ＝市農協平城支所（秋篠町）▽即売品目＝花木、植木、盆栽など

一歳六カ月児健康診査

妊産婦歯科健診も

一歳六カ月児健康診査をつぎの日程で実施します。場所は市保健センター（二条大路南一丁目、☎㉔一一一一）と西部公民館（学園北二丁目）。対象児は昭和五十六年四月生まれ。身長・体重の測定、診察、歯科健診、問診、保健指導があります。該当児には問診票を送りますが、十一月一日以降の転入者やその他の事情で届かない人は直接会場へ来てください。時間はいずれも午後一時半～二時半。母子手帳をお忘れなく。

また妊産婦歯科健診もこの日程にあわせ同時に実施します。

＝市保健センターで＝

12月2日（木）鼓阪・飛鳥・済美・椿井・佐保・大宮・帯解各校区

12月9日（木）都跡・六条・大安寺・平城・伏見・精華各校区

12月16日（木）辰市・東市・明治・あやめ池・右京・田原・柳生・大柳生・相和・西大寺北・大安寺西・神功・朱雀各校区

＝西部公民館で＝

12月23日（木）鳥見・富雄北・富雄南・鶴舞・青和・二名・登美ケ丘・東登美ケ丘・富雄第三・平城西・三碓各校区

市保健センター

（市内二条大路南一丁目　電話㉔一一一一番）

乳児健康相談　乳児障害の早期発見と予防措置のためにつぎの日程で実施。対象児は昭和五十七年五月生まれ（すでに奈良保健所か西奈良保健センターで相談した子は除く）で該当児には問診票を送ります。ただし十月一日以降の転入者には問診票は届きませんので直接センターへ。相談と同時に身体計測、運動発達の観察なども行います。時間はいずれも午前九時半～十一時。母子手帳、問診票、バスタオル、替えおむつなどを持参。

12月1日（水）鼓阪・飛鳥・済美・椿井・精華・都跡・六条・東市各校区

12月7日（火）佐保・大安寺・神功・朱雀・大宮・明治各校区

12月14日（火）平城・あやめ池・伏見・辰市・帯解各校区

12月15日（水）鳥見・富雄北・富雄南・右京・平城西各校区

12月21日（火）西大寺北・大安寺西・大柳生・富雄第三・三碓・田原・柳生・相和各校区

西奈良保健センター

（市内登美ケ丘二丁目　電話㉔九一一一番）

四十歳家庭婦人検診　日程はつぎの通り。検診内容は血圧測定、貧血・肥満度検診、検尿、聴打診（必要により心電図検査）など。対象は昭和十七年生まれの家庭婦人（被用者保険の本人は除く）。受診希望者は直接会場へ。乳ガン・子宮ガン検診を受けたことのある人はその手帳を持ってきてください。受診は無料。時間は各日午後一時半～三時。くわしいことは同センターへ。

12月6日（月）登美ケ丘・東登美ケ丘両地区

12月13日（月）鶴舞・富雄北両地区

12月17日（金）青和・二名・中登美団地・登美ケ丘・東登美ケ丘・鶴舞・富雄北地区の未受診者

三歳児健診

奈良保健所で

三歳児健康診査をつぎの日程で実施します。場所は奈良保健所（西木辻八軒町、☎㉙六一七一）。対象児は昭和五十四年四月二日～同十月一日の生まれ。受付は午前九時～同十一時と午後一時～同二時半。母子手帳をお忘れなく。なお、今年度分の三歳児健診は今回で終了します。

12月2日（木）伏見・精華・帯解各校区

12月9日（木）右京・神功・朱雀各校区

12月16日（木）指定された日にこの健診を受けられなかった子（全校区）

ワンワンセンター

……30日……

不用犬の野犬化を防ぐためのワンワンセンターが十一月三十日（火）に奈良保健所（西木辻八軒町、☎㉙六一七一）で開かれます。不用犬は捨てないで午前九時～十時半につれてきてください。

また犬のほしい人は午前十時半～十一時に来てください。この場合、登録料二千円、注射料千三百円、注射済証料三百六十円の計三千六百六十円がいります。

いずれも印鑑持参のこと。問い合わせは同保健所へ。

住民検診 ③

結核や肺ガンの早期発見、早期治療をめざして市の結核住民検診が来年2月まで行われています。みなさんの家の近くまでレントゲン車が巡回しますので、この機会にぜひ受診してください。レントゲン撮影はボタンや金具のない下着なら着たままで受けられます。ただし、15歳以上の人（中学生、高校生、勤務者、妊婦は除く）に限ります。料金は無料です。（他地域は順次掲載）

地区	月日	時間	実施場所
辰市	11.30（火）	9：30～10：00	杏中隣保館
		10：10～10：40	杏南隣保館
		10：50～11：20	辰市小学校北側
		1：00～1：30	東九条町谷村商店前
		1：40～2：20	姫寺団地集会所
		2：30～3：00	東九条町宮の森団地児童公園
		3：10～3：50	売間団地集会所
大安寺	12.1（水）	9：30～10：10	北和団地集会所
		10：20～10：50	大安寺市住1号前
		11：00～11：30	大安寺善法寺町錦城食品前
		1：00～1：30	八条隣保館
		1：40～2：00	大安寺新町浅倉牛乳店前
		2：10～2：40	朱雀園二丁目公園前
		2：50～3：40	恋の窪三丁目新大宮ハイタウン管理事務所前
	12.2（木）	9：30～10：00	柏木町農業倉庫前
		10：10～10：40	大安寺出合町自治会館
		10：50～11：20	八幡町公民館
飛鳥		1：00～1：30	白毫寺公民館
		1：40～2：10	能登川町公務員宿舎
		2：20～2：50	東紀寺三丁目県営住宅公園前
		3：00～3：50	東紀寺団地集会所
済美	12.3（金）	9：30～10：10	済美小学校北側
		10：20～10：50	奈良保健所
		11：00～11：30	杉ケ東町巽酒店前
		1：00～1：40	杉ケ中町江西商店前
		1：50～2：10	杉ケ西町墨運堂北側
		2：20～3：00	瓦堂町南都モータープール
		3：10～3：40	中辻町川合商店北側
	12.6（月）	9：30～10：00	南京終町奈良瓦料前
		10：10～10：40	肘塚椚町古川テレビ店前
		10：50～11：20	肘塚南方町奥田昇氏宅前
		11：30～12：00	桂木団地集会所前
		1：20～1：50	南京終町一丁目杉山紡績前
		2：00～2：30	南京終町七丁目岩本工務店前
		2：40～3：10	南京終町五丁目福寺児童公園前
飛鳥	12.7（火）	9：30～10：00	福井町山本食品店前
		10：10～10：40	中天満町フードセンター中村屋専用駐車場前
		10：50～11：20	飛鳥小学校校庭
		11：30～12：00	紀寺新屋敷町立石運送前
		1：30～2：00	南紀寺二丁目建設業会館前
		2：10～2：40	南紀寺三丁目紀寺ハイムA棟西側
		2：50～3：20	南紀寺一丁目NSKショップ駐車場
		3：30～4：00	南紀寺三丁目県南紀寺職員住宅前
鼓阪	12.8（水）	9：30～10：00	黒髪奈保町八田栄三郎氏宅前
		10：10～10：40	般若寺町植村医院前
		10：50～11：10	般若寺町市営住宅前
		11：20～11：50	東之阪隣保館
		1：30～2：00	川上東会所（西尾宅前）
		2：10～2：40	鼓阪小学校校門前
		2：50～3：20	川久保町菊池内科医院前
		3：30～4：00	三笠山麓町朝日軒駐車場
大宮	12.9（木）	9：30～10：20	三条栄町奈良ハイツ公園前
		10：30～11：00	三条添川町谷口住宅前
		11：10～11：40	芝辻町三丁目新大宮グリーンハイツ公園前
		1：00～1：30	三条宮前町大宮デパート前
		1：40～2：20	大宮町四丁目グリーンコーポ前
		2：30～3：00	大宮小学校前
		3：10～3：50	三条大宮町三輪工機前
	12.10（金）	9：30～10：10	西之阪隣保館駐車場
		10：20～11：00	三条池町三条会館前
		11：10～11：40	芝辻町1丁目北山医院前
		1：20～1：50	大宮町2丁目公園前
		2：00～2：30	大宮町1丁目上北薬局前
		2：40～3：30	大宮町2丁目パークビレッジ前

消費生活モニター調べ　くらしの情報　＝11月＝

秋冬野菜の出回りで、野菜価格は前月より下回りました。昨年11月と比べると、はくさい・キャベツ・大根は高値ですが、たまねぎ・ばれいしょは半額となっています。灯油の値上がりも気になりますが、今冬の供給量は十分のようです。だからと言って省エネを怠ることのないように！（下表前月比△は値下がり）

品目	規格と単位	平均価格	価格幅	前月比
まぐろ	刺身用切身　普及品　100g	312円	258～398円	△30円
いか	するめいか　丸　100g	150	81～298	8
えび	輸入冷凍品　無頭　5～6cm　パック入り　100g	395	218～598	2
塩ざけ	切身　辛塩　100g	361	248～468	3
たらこ	無着色　100g	406	298～498	△1
たまねぎ	出回りの多いもの　1kg	107	50～150	△3
ばれいしょ	メークイン　出回りの多いもの　1kg	168	96～250	△15
はくさい	出回りの多いもの　1kg	144	60～230	△62
キャベツ	出回りの多いもの　1kg	232	84～298	△5
だいこん	出回りの多いもの　1kg	176	86～380	△106
牛肉	すきやき用スライス　100g	306	230～380	14
豚肉	トンテキ用ロース　100g	204	150～258	△1
鶏肉	ブロイラー　モモ骨なし　100g	126	105～170	1
牛乳	紙容器入り　1000mℓ　1パック	227	208～235	△1
鶏卵	M寸10個入り　1パック	227	208～248	△17
食パン	普通品　1斤	141	108～160	△1
即席中華めん	100g入り　1袋	61	56～65	0
しょうゆ	ポリ容器入り　1ℓ特級本醸造	253	228～280	1
みそ	並　袋入り　1kg	323	258～338	△6
砂糖	上白糖　袋入り　1kg	224	188～298	△6
サラダ油	ポリ容器入り　700g	306	245～386	△5
インスタントコーヒー	ビン入り　150g　1本	948	878～1,050	4
洗たく用合成洗剤	無リン　2.65kg	911	910～950	△1
トイレットペーパー	60m　4ロール入り　パルプ	272	238～278	6
灯油	白灯油　配達料込み　18ℓ	1,785	1,650～1,900	67
クリーニング	男性用カッターシャツ　1回	159	120～200	0

〈モニターの眼〉

地元商店を見直し、育てることが住民にとって大切です。そのためには商店の側でも、商品の品質向上、価格の安定、アフターサービスや苦情に対する処理体制を充実するなどの工夫も必要でしょう。